

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2024年4月15日

事業ID:2023005710

事業名:山口県山口市における「子ども第三の居場所」(CA)コミュニティモデルの運営(2年目)

団体名:社会福祉法人 青藍会

代表者名:理事長 阿武 義人

TEL:083-933-6000

事業完了日:2024年3月31日



■契約時

事業費総額	:	9,810,000 円
自己負担額	:	2,610,000 円
助成金額	:	7,200,000 円

■箇所は「収支計算書」より自動転記

■事業完了時

事業費総額	:	9,810,000 円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	2,610,000 円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	7,200,000 円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0 円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

助成契約書記載の事業内容(予定)と、事業完了時の事業内容(実績)を対照可能とするため、助成契約書と一緒に綴じている「事業計画」の事業内容欄を転記した上、体裁を変えずに結果を記入してください。なお、事業内容を複数設定している場合は、各事業内容ごとの完了時の実績を個別に記入してください。事業内容が4つ以上ある場合は、一つの事業内容ボックスに複数ご記載頂いて構いません。

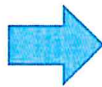
■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1、山口県山口市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営(2年目)
(1)期間:2023年4月~2024年3月(週5日、14時~19時)
(2)場所:山口県山口市
(3)対象:家庭や自身に課題を抱えた小学生を中心に30名程度
(4)内容:第三の居場所を通じて子ども自身が自分らしく過ごすことができ、コミュニティの中で社会性などを向上できるよう支援していく。

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1、山口県山口市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営(2年目)
(1)期間:2023年4月~2024年3月(週5日、14時~19時)
(2)場所:山口県山口市
(3)対象:家庭や自身に課題を抱えた小学生を中心に50名程度
(4)内容:第三の居場所を通じて子ども自身が自分らしく過ごすことができ、コミュニティの中で社会性などを向上できるよう支援していく。



(3)成功したこととその要因

開所から1年が過ぎて2年目を迎え、宿題を中心として遊びなども多く取り入れて取り組みをしてきた。今年度については口コミもあり年度初めで約30名、年度終わりには50名の登録となった。

(4)失敗したこととその要因

課題のある子どもを探していく中で感染症の影響もあり十分な活動がしていけなかった。併設施設での感染症や小学校での流行など、5類に変わったいまでも行動が阻まれている。

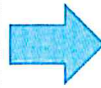
(5)事業内容詳細

日々の取り組みや、イベント、レクリエーションなどにおいては準備から片付けまで本人たちも一緒に取り組むことで目標、目的をもって取り組むことができている。また月に1度勉強会として高齢者と一緒にいるんなことを学んだり、いちご狩りに出かけたり、農業と触れ合ったりしている。そのような取り組みを通じて学びの機会をより増やしていきたい。

■事業内容2

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

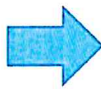
(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

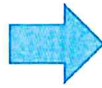
(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

(2)事業内容の実施(完了)状況



(3)成功したこととその要因

(4)失敗したこととその要因

(5)事業内容詳細

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- ・2024年3月31日までに1日平均利用児童を15名とする
- ・ボランティアなどの地域住民や、行政、学校との関係構築、多世代交流機会の提供
- ・子どもの「経験の不足」を解消するようなイベントを事業期間内に12回実施する

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数	180	文字数チェック	OK
<ul style="list-style-type: none">・登録児童については2024年3月時点で52名。平均児童数は10名程度。次年度の学童待機児童や長期休みのみの利用等での登録が目立った。・行政については感染症により書類提供の機会が減ったため、他職員と手分けして今後は定期的に提出ができて関係が構築できるように取り組んでいく。・毎月の勉強会だけでなく、定期的にお菓子作りや工作、農業体験やいちご狩りなどを実施。			

3.事業実施によって得られた成果

誰一人取り残されないように取り組みを続ける中で、口コミで活動が広まり登録者を増やすことができた。小学校内の学童については低学年を優先的に入れるため、あふれてしまった低学年や出ざるを得ない高学年の児童が中心となって受け入れを実施している。ボランティアの先生が宿題支援してくれたことにより、長期休み等の学習支援で来てくれている学生もいる。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

ひとり親や共働き家庭などがメインとなっている。地域のニーズや今いる子供たち以外にも必要としている子供たちがいるのではないかと感じている。そこを探す手立てが不十分であったと感じるため、今後は地域福祉委員や民生委員などとのつながりをより強固にもち、必要とする子供たちを継続的に探していきたい。

5.事業成果物

(1)助成契約書記載の成果物名称

完了報告書

(2)事業完了時の成果物名称

完了報告書



(3)未作成となった要因

契約時の事業成果物で作成していないものがある場合は理由を記載してください。

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

<https://fields.canpan.info/report/detail/31175>

2023年度 収支計算書

2023年 4月 1日から 2024年 3月 31日まで

(単位:%)

団体名: 社会福祉法人 青藍会

契約書(記3)に記載の補助率

100

事業名: 児童クラブ宮野

(収入の部)

(単位:円)

費目	予算額 (A)	決算額 (B) 自動計算	受入済額 (C)	未収額	助成金返還見込額
				自動計算(A-C)	自動計算(A-B)
① 日本財団助成金収入	7,200,000	7,200,000	7,200,000	0	0
② 自己負担	2,610,000	2,610,000	2,610,000		
③ 収入合計	9,810,000	9,810,000	9,810,000	0	0

(支出の部)

(単位:円)

費目	日本財団承認済の 予算額 (x)	決算額 (y)	支出済額 (z)	未払額	補足説明、備考
				自動計算(y-z)	
臨時雇用費	600,000	150,000	150,000		
諸謝金費	162,000	30,000	30,000		
旅費交通費	396,000	25,000	25,000		
給食費	810,000	750,000	750,000		
印刷製本費	72,000	65,000	65,000		
消耗什器備品費	216,000	150,000	150,000		
水道光熱費	240,000	300,000	300,000		
通信運搬費	180,000	100,000	100,000		
教材費	360,000	220,000	220,000		
器具什器費	360,000	120,000	120,000		
人件費	6,408,000	7,900,000	7,900,000		
支出合計(端数調整前)	9,804,000				
端数調整欄	6,000				
④ 支出合計(端数調整後)	9,810,000	9,810,000	9,810,000	0	

※助成金・負担金額の確定は監査終了後、当財団よりご連絡いたします。

※予算額に対し、決算額が下回った場合、助成金の返還が生じます。

【返還見込額の発生有無】

返還見込額の発生
無し

※「有り」の場合は予算額に対し決算額が下回っているため、返還金が発生する可能性があります。

【一致確認】 ※NGが出た際は、入力が間違っているかもしれませんので該当項目を再確認してください。

予算額(A)③収入合計=予算額(x)④支出合計	OK
決算額(B)③収入合計=決算額(y)④支出合計	OK
受入済額(C)③収入合計-助成金返還見込額=支出済額(z)+未払額④支出合計	OK

セルフチェック項目 (プルダウンで選択)

- ① (収入の部)の予算額(A)の①日本財団助成金収入と③収入合計は、契約書に記載されている助成金額及び事業費総額と一致しているか。
- ② (収入の部)の予算額(A)③収入合計と(支出の部)の日本財団承認済の予算額(x)④支出合計が一致しているか。
- ③【一致確認】欄は全て「OK」であるか。